



◀ 家族とともにペダルをこぐ
川端さん(左端)＝氷見市内

引退の川端さん「最高の3日間」

第1回大会からチャンピオンコースに出場し続け、今大会での引退を決めている川端さん(75)「内灘町」は、子や孫とともにゴールし、有終の美を飾った。「ツール・ド・北越」の3日間になった」と満足そうに話した。

川端さんは最終日、1日コースで参加した長男の大介さん(44)、孫の隼介さん(14)、あいらさん(10)とともにゴールを目指した。県西部緑地公園では引退を知った他の選手に拍手で迎えられ、「名残惜しい気持ちが入り込んできたが、引退しても息子たちがいる。今後はボランティアとして大会を支えたい」と話した。

あいらさんは「おじいちゃんの自転車をこぐ姿がかっこよかった。大きくなったら3日間のコースに挑戦したい」と笑顔を見せ、大介さんは「父のサイクリングへの思いを引き継いでいきたい」と語った。